

第十五條 派遣俘虜使用者本令又ハ第二條ノ規定ニ依

リ俘虜收容所管理長官ノ許可シタル計畫ニ違反シタルトキハ俘虜收容所管理長官ハ俘虜派遣ノ許可ヲ取消スコトヲ得

前項ノ取消ニ由ル俘虜ノ復歸ニ要スル一切ノ費用ハ派遣俘虜使用者ノ負擔トス

第一項ノ場合ニ於テ派遣俘虜使用者ハ許可ノ取消ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ズ

第十六條 派遣俘虜使用者ハ本令ニ規定ナキ事項ヲ行フコトヲ得ズ

第十七條 本令ニ依リ俘虜收容所管理長官ト派遣俘虜使用者間ニ授受スベキ書類ハ俘虜收容所長ヲ經由スベシ

第十八條 前諸條ノ規定ハ官廳ニ俘虜ヲ派遣スル場合ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別紙

(用紙適宜)

俘虜派遣許可願
年 月 日

住所
職業

氏名
生年 月 日

何軍司令官(師團長)殿

左記ニ依リ俘虜派遣規則ニ依ル俘虜ノ派遣ヲ受ケ度候間御許可相成度別冊計畫書相添へ申請候也

左記

- 一、俘虜ノ員數
- 一、俘虜ノ使用場所
- 一、俘虜使用期間

派遣俘虜取扱規則 (昭和十七年十月二十一日 陸運第七十四號)

第一條 派遣俘虜ノ取扱ニ關シテハ俘虜派遣規則及本達ニ依ルノ外俘虜取扱規則、俘虜取扱細則、俘虜勞役規則及其ノ他ノ關係諸條規ニ依ル

第二條 俘虜收容所管理長官俘虜ヲ工場、事業場等ニ派遣セントスルトキハ俘虜勞務規則第四條及第五條、俘虜派遣規則並ニ本達ノ定ムル所ニ依リ派遣俘虜ノ居住、取締、勞務、給與、醫療等ニ關スル事項ヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三條 派遣俘虜ノ取扱ニ關シテハ俘虜派遣規則及本達ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外之ヲ差出シタル俘虜收容所長(以下單ニ俘虜收容所長ト稱ス)ニ於テ處理スルモノトス

第四條 俘虜收容所長俘虜ヲ派遣スルニ方リテハ其ノ有スル技能ノ外特ニ其ノ性質、思想、經歷等ニ就キ周密ナル調査、觀察ヲ爲シ逃走及不慮ノ災害等ノ豫防ニ努メ且派遣ニ先チ所要事項ニ關シ嚴肅ナル宣誓ヲ爲サシムルモノトス

第五條 俘虜收容所長俘虜ヲ派遣スルニ方リテハ所要ノ職員ヲ附シ派遣俘虜ノ取締警戒ニ任ゼシムルモノトス

第六條 派遣俘虜ノ取締ニ關シテハ左ノ各號ニ依ルモノトス

- 一 特ニ取締警戒ヲ嚴重ニシ防禦ニ努ムルト共ニ派遣俘虜ノ逃走及不慮ノ災害等ヲ防止スルモノトス

二 派遣俘虜ノ外出ハ特別ナル事由アルニ非ザレバ

實施セザルモノトス又外出ノ際ハ必ず監視人ヲ附スルモノトス

三 派遣俘虜ノ發受スル電信及郵便物ハ總テ俘虜收容所長ヲ經由シ其ノ檢閲ヲ受クルモノトス

四 派遣俘虜ニ對スル面會及派遣場所ノ視察等ハ俘虜收容所長ヲ經テ俘虜收容所管理長官ノ許可ヲ得タルモノノ外之ヲ行ハシメザルモノトス

五 派遣俘虜自費ヲ以テ嗜好品其ノ他日用品等ヲ購入センコトヲ申出ヅルトキハ俘虜收容所長ノ定ムル所ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

六 派遣俘虜ニ對シ金錢物品ヲ寄贈セントスル者アルトキハ俘虜收容所長ノ定ムル所ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

派遣俘虜ヨリ金錢物品ヲ發送セントスルトキハ俘虜收容所長ヲ經由シ其ノ檢査ヲ受クルモノトス

第七條 俘虜收容所長ハ隨時派遣俘虜ニ對スル巡視又ハ査閲ヲ實施スルモノトス

第八條 俘虜收容所管理長官ハ派遣俘虜ノ交替ヲ命ジ又ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ派遣俘虜ノ増加若ハ復歸ヲ命ズルコトヲ得

昭和十七年優良多子家庭に關する

附帶集計の發表

昭和十七年度の表彰優良多子家庭の概略については前號所報の如くであるが、右表彰家庭につき厚生省人口局に於いて集計せる結果を掲ぐれば以下の如くである。

第一表 該當家庭數調

市町村	該當家庭數			計	該當家庭總數に對する百分比
	父母共に現存する家庭	父のみ現存する家庭	母のみ現存する家庭		
市	二六七	一四	三七	三二八	二二・一七
町	二九〇	一八	三六	三四四	二二・九〇
村	七一六	三〇	九四	八四〇	五五・九三
計	一、二七三	六二	一六七	一、五〇二	一〇〇・〇〇
該當家庭總數に對する百分比	八四・七五	四・一三	一一・一二	一〇〇・〇〇	

第二表 六歳以上の子女數別該當家庭數調

市町村	子女數						計	該當家庭總數に對する百分比
	一〇人	一一人	一二人	一三人	一四人	一五人		
市	三六	四三	二二	二	一	一	三六	
町	三〇二	三六	四	二	一	一	三四四	
村	七三	九〇	一四	三	一	一	八四〇	
計	一、二七	一六	二九	七	一	一	一、五〇二	
該當家庭總數に對する百分比	八六・三三	一一・五	一九・三	〇・四七	一	一	一〇〇・〇〇	

第三表 子女數別該當家庭數調

市町村	子女數						計	該當家庭總數に對する百分比
	一〇人	一一人	一二人	一三人	一四人	一五人		
市	一九二	八二	四	九	二	一	三六	
町	三三	七九	四	五	一	一	三四四	
村	五九	二七	八	一	二	一	八四〇	
計	九三	三七	一六	一五	四	一	一、五〇二	
該當家庭總數に對する百分比	六二・四三	二五・七	一〇・九	一・〇	〇・二七	一	一〇〇・〇〇	

第四表 第一子分婉時より末子分婉時に至る所要年數別

所要年數	家庭數	該當家庭總數に對する百分比
一五年未滿	一五	一・〇〇
一五年以上二〇年未滿	二六九	一七・九一
二〇年以上二五年未滿	八九七	五九・七三
二五年以上三〇年未滿	三〇五	二〇・三〇
三〇年以上三五年未滿	一四	〇・九三
三五年以上四〇年未滿	二	〇・一三
四〇年以上	一	一
計	一、五〇二	一〇〇・〇〇

第五表 第一子及末子分婉時年齢別母の數調

母の年齢	第一子分婉時年齢に依る母の數	末子分婉時年齢に依る母の數	該當家庭總數に對する百分比
一五歳未滿	六	一	〇・四〇
一五歳以上二〇歳未滿	六四二	一	四二・七四
二〇歳以上二五歳未滿	八〇七	一	五三・七三
二五歳以上三〇歳未滿	四七	一	三・一三
三〇歳以上三五歳未滿	一	六	〇・四〇
三五歳以上四〇歳未滿	一	一九八	一三・一八
四〇歳以上四五歳未滿	一	一〇一九	六七・八四
四五歳以上五〇歳未滿	一	二六七	一七・七八
五〇歳以上五五歳未滿	一	一二	〇・八〇
五五歳以上	一	一	一
計	一、五〇二	一、五〇二	一〇〇・〇〇

第六表 職業及經濟狀態別該當家庭數調

職業/經濟狀態	上			中			下			計	該當家庭總數に對する百分比	
	初等科	中等科	高等科	初等科	中等科	高等科	初等科	中等科	高等科			
農業	77	640	218	95	635	205	2	9	5	10	3	130
水産業	2	55	10	7	379	180	1	20	7	7	3	49
鑛業	1	16	10	7	180	100	1	10	7	26	5	56
工業	2	7	3	3	86	100	2	1	3	3	14	9
商業	3	102	3	3	86	100	3	6	4	100	100	100
交通業							83	64	23	100	100	100
公務自由業												
家事使用人												
其他の有業者												
無業者												
計												
該當家庭總數に對する百分比												

第七表 子女の性別教育程度別子女數調

性別	國民學校及同程度						青年學校及同程度						中等學校及同程度						專門學校及同程度						大學及同程度						未就學	不就學
	初等科	中等科	高等科	初等科	中等科	高等科	初等科	中等科	高等科	初等科	中等科	高等科	初等科	中等科	高等科	初等科	中等科	高等科	初等科	中等科	高等科	初等科	中等科	高等科	初等科	中等科	高等科					
男	1591	977	432	436	2680	1521	333	564	7	26	44	5	5	5	3	7	5	2	360	8	839											
女	1530	2078	77	361	2333	90	73	44	5	33	499	3	3	4	1	1	1	1	32	7	773											
計	3121	3055	99	797	5013	242	146	88	12	59	948	6	8	9	2	8	6	4	680	15	1512											

第八表 双兒及三ツ兒出生產家庭調

双兒出生產件數		三ツ兒出生產件數	
男兒一人	1	男兒二人	1
女兒一人	1	男兒一人 女兒一人	1
計	2	男兒二人 女兒二人	1
男兒二人	1	男兒一人 女兒一人	1
女兒二人	1	男兒二人 女兒二人	1
計	2	計	2

第九表 軍務關係狀態及市町村別子女數調

軍務關係狀態別	市町村別			計
	市	町	村	
現役	112	155	351	618
應召	113	113	229	455
在郷軍人	158	167	391	716
傷痍軍人	6	2	16	24
戰歿軍人	25	13	46	94
計	414	460	1,033	1,907